

背景

【共和町の概要】

○北海道有数のメロンとすいかの大産地であり、パイプハウス栽培（促成、半促成、抑制作型）および露地トンネル作型で作付されている

○水稲とメロン・すいか・スイートコーン等の園芸品目やばれいしょ・大豆等土地利用型作物を組み合わせた複合経営が主体の地域である

【地域の課題】

○高齢化や担い手減少により若手に土地が集約されていることから個々の経営規模が年々拡大

○労働力不足による作業遅延が顕在化している

普及活動内容

- 「施設園芸作物のスマート農業の推進」をテーマとした研修、情報収集に取り組んだ



- 導入する農業者への相談対応を速やかにできるよう、①「用語集の作成」②「スマート農業機器一覧表の作成」③「導入事例集の作成」を整理



- 各研修会等の機会を利用し、事例収集した「自動換気装置」等の情報を提供、また、関係機関との情報共有を図った

普及の成果

【具体的な成果】

- 農繁期の多忙の中、こまめにハウスの温度管理を行うことができ、作業を軽減できるようになった。
- ハウス開閉に要する時間（ほ場にある全棟数あたり）80～90%削減!!



自動巻き上げ機



自動巻き上げ機の制御盤
(モーター8個制御)

【成果のポイント】

- 時間削減と気温にあわせたハウスの開閉を気にすることがなくなり、精神的に「ゆとり」が生まれた